

森と人をつなぐプロジェクト (石川県)



植樹活動

<きっかけ>

環境問題や里山林の再生を目指して整備を進めてきたが、森林資源の利用拡大につなげていかなければ課題の解決や里山林の再生にはつながらないと気付いたこと。

<目的>

木育や里山保全体験、木製品の開発を行い、社会が環境や人に優しい木質素材を選択する意識改革を目指す。

<内容>

(木育、里山保全体験イベント)

草刈り、植樹、伐採、階段作り、薬草、ピオトープ、畑づくり、歩道整備、木質チップ、薪割り、シイタケ原木づくり、食育、クラフト、木工教室、自然保育、木育キャラバン、森の話

・参加者：延べ6,300名(幼児～シニア)

・時期：5月～3月(34回/平成29年度実施)



木育広場
(夏のイベント)



自然保育

(商品開発)

- ・毎月定例会議
- ・4商品の商品開発と試作品製作(特許申請中)

(販売)

- ・薪の生産・販売を開始

<3つのポイント>

- ・里山の整備をきっかけに、木材利用の取組の重要性に気付く。
- ・目的は、環境や人に優しい木質素材を選択できるような意識づくりをすること。
- ・木育、里山保全体験イベントのみならず、商品開発、商品生産販売も行っている。

企業、NPO、大学、行政、地域住民等の地域の多様な主体の連携の元、里山の保全・活用事業に取り組んでいるNPO法人角間里山みらいが、里山林の再生には森林資源の利用拡大が必要との思いから、森林組合等とも連携し、木育や木製品開発等、木材利用拡大につなげる取組を実施しました。

<実施体制>

NPO法人角間里山みらい(イベント)
金沢産材商品開発委員会(商品開発)
MARUTAN・金沢森林組合(商品生産販売)

協力

里山保全団体、金沢森林組合、木材業、
建築業、大学、幼児教育機関
行政、企業、中山間町会



薪割り体験

<経費>

経費：8,500千円

財源：会費、委託費、助成金、寄付金、参加費

補助率：15%

補助の仕組み・対象内容等：いしかわ森林環境基金：指導謝金

<問い合わせ先>

NPO法人角間里山みらい TEL：076-229-1131

HP：<http://satoyamamirai.jp/>

<ここに注目！>

多様な主体が連携し、多数のイベントの開催や商品開発等に取組んでいます。イベントにはたくさんの参加者が集まるなど、活動規模が大きいものになっています。